

第3学年社会科学学習指導案

日時 平成16年9月28日(火) 5校時
 場所 敵美中学校3年B組教室
 学級 3年B組
 (男子11名 女子12名 計23名)
 授業者 教諭 吉田 浩之

1 単元名 第3章 わたしたちの暮らしと経済
 1 暮らしを支える経済のしくみ 中学社会公民(教育出版)
 いろいろな商品 商品と価格

2 単元について

本単元は、学習指導要領社会編・公民的分野の国民生活と経済に関わり、私たちの生活と経済により関心をもたせたいと考え、本教材を設定した。

具体的には、身近な消費生活のなかの商品価格の設定を中心にわが国の経済活動の特徴をとらえ、私たちが豊かな生活を実現できるよう、経済の意味について考えることができる教材である。

また、学習指導要領社会編の公民的分野より、「市場経済において個々人は価格を考慮しつつ、何をどれだけ生産・消費するか選択すること、また、価格には何をどれだけ生産・消費するかにかかわって、人的・物質的資源を効率よく配分する役割があることなど、市場経済の基本的な考え方」を育成するために少しでも迫りうる単元だと考える。

3 生徒について

4月当初、生徒の地理的・歴史的分野への関心・意欲と比較して、公民的分野への興味・関心が低かったが授業をすすめるなかで意欲的に取り組むようになってきた。しかし、政治や経済という言葉に対する反応は積極的ではないが、日常の学習に対しては全体的に意欲を持って取り組んでいる。

この単元で学習することは、日常の生活に関わりが強く、各家庭においても関心が高いとされる話題であり、家計に大きく影響を与える問題でもある。価格というのは、あまりにも身近すぎて生徒においてはよく考えていない感がある。そのため、価格というものをとらえなおすために、商品価格について広い視野で考えようとする態度を身に付けさせたい。

4 指導観

身近で具体的な商品価格の設定を通して、現実の経済に対する関心をもたせ、さらに消費者・生産者と社会とのかかわりを客観的にとらえ直し、その意味についての理解を深めさせ、経済についての見方や考え方の基礎を育てたい。

生徒にとって現実的な課題となるよう発表や、資料の分析等に取り組む中で、自己評価・相互評価なども取り入れるとともに、一人一人の理解度をとらえながら学習活動を展開し、支援していきたい。理解度をとらえるにあたっては自己評価を中心に行う。

5 指導計画(評価規準表は別紙)

消費生活を中心に経済活動の意義を理解させるとともに、経済生活の向上をはかるために基本的な考え方や現代の生産のしくみとあらましについて理解させる。

6 具体の評価規準

評価計画(13時間計画/本時は3時間目)

基礎・基本	評価方法	判断基準		援助
【関心・意欲・態度】 商品価格の設定に関心を持ち、意欲的に学習に取り組むこと。	商品の価格について学習に取り組もうとする 「自己評価」	商品の価格におけるその価格の内訳に関心を持ち、内訳の内容について理解できる。	商品価格の内訳について生産者価格と消費者価格について区別することができる。	生産者・消費者の立場で考えてみるよう助言する。
【知識・理解・思考・判断】 商品価格の設定の背景について知識をもとに考え、その利潤のあり方、価格の内訳について考察すること。	商品価格の設定について自分の考えを学習プリントに記入し、グループ毎にまとめる作業をする場面	生産者価格と消費者価格の内訳について考え、その内容について資料や他の生徒の意見も参考に参考しながら具体的に考察できる。	生産者価格と消費者価格の内訳について考え、利潤に着目することができる。	グループのメンバーが出したアイデアをどのように取り入れるかについてアドバイスする。
【技能・表現】 商品価格の設定・価格の内訳について考え、発表すること。	商品価格の設定・内訳について、自分の考えを発表する場面	商品価格の設定・価格の内訳について、資料等を利用して、具体例を提示しながら発表できる。	商品価格の設定について、自分なりの考えを発表できる。	商品等を購入する際にどんな点に気をつけていくか考えてみるようアドバイスする。

7 本時の指導

(1) 指導目標

商品の価格がどのようにして決定されるのか理解できる。

(2) 指導構想

さまざまな商品の価格のあり方について、その内訳を理解するとともに価格の設定の仕方について考えさせるよう配慮する。

価格の種類について、商品の種類により需要・供給の関係について必要なことをとらえられるようにする。

1 今日の学習テ - マ

「商品の価格はどのようにして決定されるのか」

2 今日の要点

(1) 商品は()と()に分類される。
消しゴムなど 電話料金など

(2) 商品価格は() 卸売価格と()の3つの要素からなる。

3 小テスト

(1) 会社でやといいれた勤労者に支払う給料を何費といえますか。()費

(2) 企業が継続して活動するために必要な利益のことを何といえますか。()

(3) 需要量と供給量の関係で決まる価格のことを何価格といえますか。()

4 今日の授業の感想

5 自己評価

()

6 メモ

第3章 わたしたちの暮らしと経済 第1節「暮らしを支える経済のしくみ」単元指導計画

1. 単元の学習指導目標

消費生活を中心に経済活動の意義を理解させるとともに、経済生活の向上をはかるために基本的な考え方や現代の生産のしくみとあらましについて理解させる。

2. 単元における基礎・基本

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断	資料活用の技能・表現	社会的事象についての知識・理解
<p>経済活動に対する関心を高め、それを意欲的に追求し、経済活動について考えようとしている。</p> <p>経済のはたらきについて、日常生活と結びつけて考えること。</p> <p>商品価格の意味について関心をもち、現在の消費生活のなかでのそれぞれの役割に関心を持つこと。</p> <p>通貨について関心を持ち経済とのかかわりを意欲的に調べようとする。</p> <p>消費者問題に関心を持ち、前向きに学習に取り組むこと。</p> <p>現代の企業の形態の意味について、追求しようとする。</p> <p>情報化社会について関心を持ち、さまざまな方法で調べてみようとする。</p>	<p>社会における企業の役割、社会生活における職業の役割について多面的・多角的に考察し、個人や企業の経済活動の在り方について様々な立場から公正に判断する。</p> <p>経済と国民生活をめぐる諸問題を、考察する必要性を理解すること。</p> <p>消費者問題の背景について考え、その解決方法について考察すること。</p> <p>企業規模による問題点を考察できること。</p> <p>企業間の公正な競争が経済の発展に欠かせないことを法的な視点からも理解すること。</p> <p>働くことの重要性をさまざまな角度から考えること。</p>	<p>経済活動に関する様々な資料を収集し、学習に役立つ情報を活用する。</p> <p>商品価格の内訳を把握し、市場価格が決まることを理解できること。</p> <p>消費者の在り方について考え、発表すること。</p> <p>銀行の仕事内容について説明できる。</p> <p>日本の労働条件の特色を読み取ること。</p> <p>第1次産業を中心とした産業構造の特色を分析できる。</p>	<p>市場経済の基本的な考え方、金融の働きについて理解し、それらの知識を身に付けている。</p> <p>家計の意味を理解し、家計簿について理解すること。</p> <p>貨幣制度の基本的な知識を習得し、経済活動のなかの貨幣の重要性を理解することができる。</p> <p>日本銀行の役割について理解することができる。</p> <p>需要関係によって価格が変動することを理解できる。</p>

3 . 各時間の指導（評価規準表）

時間	基礎・基本	学習活動	評価場面 評価方法			支援
				(A)	(B)	
1	<p>【関心・意欲・態度】 経済のはたらきについて、身近な生活と結びつけて考えること。</p> <p>【思考・判断】 経済と国民生活めぐる諸問題を、考察する必要性を理解すること。</p>	<p>はじめに - 経済の学習を始めるにあたってコンビニの業務内容（財とサービスの両方を提供していること）を確認する。コンビニを通じて、国民生活の変化、便利さがもたらす課題について考える。</p> <p>コンビニは一般の店と何が、どのよう にちがうのだろうか。</p>	<p>コンビニの業務内容について、意見交換をする場面。</p> <p>コンビニを通じて、経済活動の流れ、国民生活の変化、などについて考える場面。</p>	<p>コンビニの業務内容について、日常生活と結びつけて考え、経済に対する関心を高めることができる。</p> <p>コンビニを通じて、経済と国民生活との関わりをめぐる諸問題を、生活の変化の中で考察することが出来る。</p>	<p>コンビニの業務内容について、日常生活と結びつけて考えることができる。</p> <p>コンビニを通じて、経済をめぐる諸問題を、理解することが出来る。</p>	<p>コンビニの場所についてアドバイスする。</p>
2	<p>【関心・意欲・態度】 身近な消費生活に関心を持つこと。</p> <p>【知識・理解】 家計の意味を理解し、収入（所得）の種類を理解すること。</p>	<p>1 暮らしを見つめて衣食住など、私たちの生活には収入が必ず必要だということを考える。家計の意味を理解し、収入（所得）の種類と消費支出の傾向を考える。</p> <p>家計を合理的に営むためには、どの ような工夫が必要なのだろうか。 エンゲル係数について実際に計算する。</p>	<p>私たちの生活に必要なものを考える場面。</p> <p>自分の家の家計簿を作成する場面。</p>	<p>私たちの日常生活に必要なものを家計簿の中に書き出すことができる。</p> <p>収入・支出について意味を理解し、分類することができる。</p>	<p>私たちの日常生活に必要なものを書き出すことができる。</p> <p>収入の種類を理解することができる。</p>	<p>赤字についてアドバイスする。</p>
3	<p>【関心・意欲・態度】 商品価格の設定に関心をもち、意欲的に学習に取り組むこと。</p> <p>【思考・判断】 商品価格の設定の背景について知識をもとに考え、その利潤のあり方、価格の内訳について考察すること。</p> <p>【知識・理解】 商品は財とサービスに分類されることを説明できること。さらに、利潤に着目する。</p>	<p>2 いろいろな商品 商品には、財とサービスがあることを、具体的な例をもとに理解する。商品の価格に含まれている内容を確認し、価格がさまざまな費用と利潤から成り立っていることを理解する。</p> <p>商品の価格はどのようにして決定されるのか</p>	<p>商品の価格について学習に取り組もうとする場面（自己評価）。</p> <p>商品価格の設定について自分の考えを学習プリントに記入し、班ごとにまとめる作業をする場面（自己評価）。</p> <p>商品価格の設定・内訳について、自分の考えを発表する場面（確認テスト）</p>	<p>商品価格の内訳に関心をもち内訳の内容について理解し、意欲的に追究している。</p> <p>生産者価格と消費者価格の内訳について考え、その内容について利潤や他の生徒の意見も参考にしながら具体的に考察し、説明できる。</p> <p>商品価格の設定・価格の内訳について、具体例を提示しながら発表できる。</p>	<p>生産者価格と消費者価格の区別ができる。</p> <p>利潤に着目できる。</p>	<p>生産者、消費者の立場で考えてみるように助言する。</p>

4	<p>【関心・意欲・態度】 現在使用されている通貨について関心を持ち意欲的に調べようとする。</p> <p>【知識・理解】 貨幣制度の基本的な知識を習得し、経済活動のなかの貨幣の重要性を理解することができる。</p>	<p>3 貨幣とは何か 貨幣の必要性を考える。 貨幣には交換の手段としてだけでなく、価値の尺度や価値の保存としての役割があることを理解する。</p> <p>もし、貨幣がなかったならどのようになるのだろうか。 貨幣の役割とわが国の通貨制度を把握する。</p>	<p>貨幣の必要性を考える場面。</p> <p>貨幣の役割について考える場面。</p>	<p>現在使用されている通貨について関心を持ち、経済との関わりを意欲的に調べようとする。</p> <p>貨幣の役割と貨幣制度の基本的な知識を習得し、経済活動の中の貨幣の重要性を理解することができる。</p>	<p>現在使用されている通貨について関心を持つことが出来る。</p> <p>貨幣の役割の基本的な知識を習得することができる。</p>	<p>紙幣と硬貨についてどこでついているのか考えさせる。</p>
5	<p>【関心・意欲・態度】 消費者問題に関心を持ち、意欲的に学習に取り組むこと。</p> <p>【思考・判断】 消費者問題の背景について考え、その解決方法について考察すること。</p>	<p>4 カード社会と消費生活 消費者トラブルの相談事例を知る。 学習課題を確認する。</p> <p>カードの正しい使い方について考えてみよう</p>	<p>消費者問題について学習に取り組もうとする姿勢</p> <p>消費者問題の背景・解決方法について学習プリントに記入する場面。</p>	<p>消費者をめぐる様々な問題に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとする。 消費者問題の背景について考え、その解決方法について考察できる。</p>	<p>消費者をめぐる様々な問題について関心を持つことが出来る。 消費者問題の背景について考え、その解決方法について自分なりの考えを考察できる。</p>	<p>カードのこわさを説明する。</p> <p>商品を購入する際によく考えるようアドバイスする。</p>
6	<p>【技能・表現】 銀行の役割について説明できる。</p> <p>【知識・理解】 銀行の業務についてまた日本銀行の役割について理解することができる。</p>	<p>5 家計と金融 貯蓄された貨幣の動きの中心に、銀行業務や日本銀行の役割について理解する。 家計と企業における銀行の役割を理解させ、日常生活と金融が密接に関わっていることを気づく。</p> <p>銀行の役割って何だろう。</p>	<p>銀行の業務や日本銀行の役割の重要性について理解する場面。</p>	<p>銀行の業務や日本銀行の役割について理解できる。</p>	<p>銀行の業務について理解することができる。</p>	<p>金融機関の利用など具体的な例を提示する。</p>
7	<p>【思考・判断】 小売業の多様化を中心に流通の変化を考察でき</p>	<p>6 生産と消費をつなぐもの 日常生活に必要なものを、私たちはどこから購入しているのか。 さんまはどのようにして、生産者から消費者へと流通するのだろうか。</p>	<p>流通の多様化の実態について調べる。</p>	<p>卸売業・小売業の役割について調べる。</p>	<p>商品がどんな経路で私たちの手に入ったか理解する。</p>	<p>店がないと消費者はどうやって商品を手に入れればよいのかアドバイスする。</p>
8	<p>【知識・理解】 需要関係によって価格が変動することについて理解できること。</p>	<p>同じ商品でも、日によって価格が異なっていることに気づく。</p> <p>きゅうりが月日によって価格が変動するのはなぜか。</p>	<p>商品の価格が日によって違う理由を考える場面。</p>	<p>需要関係によって価格が変動すること、管理価格・公共料金について理解とができる。</p>	<p>需要関係によって価格が変動することについて理解できる。</p>	<p>具体的な商品で説明する。</p>

9	<p>【技能・表現】 企業の特徴を調べ、まとめる。</p> <p>【思考・判断】 企業規模の問題点を考察できること。</p>	<p>7 様々な企業 企業とは生活に必要な財やサービスを生産しているところだということを確認させる。 私企業と公企業の違いについて理解させる。</p> <p>私企業と公企業を比較してみよう。</p>	<p>企業の役割について考え、種類について調べ、まとめる場面。</p> <p>企業規模の大小による問題点を考察する場面。</p>	<p>企業には様々な種類があることや、その特徴を調べ、まとめることができる。</p> <p>企業規模の大小による問題点を考察し、意見を発表できる。</p>	<p>企業には様々な種類があり、その概要をまとめることができる。</p> <p>企業規模の大小による特色を考察できる。</p>	<p>宣伝でよく目にする企業には、どんなものがあるか想起させる。</p>
10	<p>【関心・意欲・態度】 企業が株式会社の形態をとることが多いのはなぜか、追求すること。</p> <p>【思考・判断】 企業間の公正な競争が経済の発展に欠かせないことを考え、理解すること。</p>	<p>8 会社のしくみと役割 種々の企業の経済活動のなかで株式会社が大きな役割を果たしていることをとらえさせる。 株式会社の経営の仕方、企業としての社会的責任について理解させる。</p> <p>株式会社と有限会社を比較してみよう。</p>	<p>なぜ、多くの企業が株式会社の形式をとるのか調べる場面。</p> <p>消費者と企業の関わりについて考える場面。</p>	<p>現代の企業が株式会社の形態をとることが多いのはなぜか、株式会社のしくみや運営の面から追求しようとする。</p> <p>企業間の公正な競争の重要性と企業集中の問題について、様々なケースを例にとって考えることができる。</p>	<p>現代の企業が株式会社の形態をとることが多いのはなぜか、追求しようとする。</p> <p>企業間の公正な競争の重要性と問題点について、理解できる。</p>	<p>株式会社は巨額の資本金を一度に集めることができることを説明する。</p>
11	<p>【思考・判断】 働くことの重要性をさまざまな角度から考えること。</p> <p>【技能・表現】 日本の労働条件を読み取ること。</p>	<p>9 生活を支える労働 働くことの意味や失業した場合の生活を理解させる。 雇用の安定が大切だが、倒産やリストラ等によって、日本の雇用環境がくずれ始めていることを理解させる。</p> <p>就職の中で正社員とフリーターのちがいは何だろうか。</p>	<p>就職する時に、望む労働条件を考えるとともに、現代の労働条件の特質を理解する場面。</p> <p>教科書のグラフから日本の労働条件を読みとる場面。</p>	<p>働くことの意味を自分たちの将来と関連づけて様々な角度から考え、正しい勤労観や職業観の基礎を培うことができる。</p> <p>教科書のグラフから日本の労働条件を読みとり、その問題点を発表することができる。</p>	<p>働くことの意味を様々な角度から考え、正しい勤労観や職業観の基礎を培うことができる。</p> <p>教科書のグラフから日本の労働条件を読みとり、その問題点について自分なりに表現できる。</p>	<p>自分の生き方や進路につなげて働く目的についてかんがえてみるようアドバイスする。</p> <p>「男女の賃金格差」のグラフに焦点をあて、読み取り方を補説する。</p>
12 13	<p>【関心・意欲・態度】 情報化社会について関心を持ち、さまざまな方法で調べてみようとする。</p> <p>【技能・表現】 教科書のグラフから技術革新や情報化などの経済のソフト化と、第1次産業の実態について読み取ることができる。</p>	<p>10 日本の産業の姿 産業構造の変化のなかで多面的役割などを理解させる 社会の変化の中での産業の多面的役割を理解する。</p> <p>第一次産業別就業者数は将来、どのような変化が読みとれるだろうか。</p>	<p>情報化社会や食糧問題について調査する場面。</p> <p>情報化社会や、食糧問題が私たちにもたらす影響を考える場面。</p>	<p>情報化社会や食糧問題について関心を持ち、新聞、図書館やインターネットなどでさらに調べる。</p> <p>教科書のグラフから技術革新や情報化などの経済のソフト化と第1次産業の実態について読みとり、発表できる。</p>	<p>情報化社会や食糧問題について興味・関心を持ち、意欲的に学習しようとする。</p> <p>教科書のグラフから技術革新や情報化などの経済のソフト化と第1次産業の実態について読みとり、自分なりに発表できる。</p>	<p>外国産の農産物には、どんなものがあるかアドバイスする。</p> <p>日本の農産物自給率の低さを確認させる。</p>

1個あたりの価格を決めよう

一個あたり		
卸売り価格	販売価格	(利潤)もうけ
		550円 - 800円
450円	550円	100円

ここに、自分で価格を自由に入力しよう。

例 470円は
470と入力すること

1日に80個売ることにします。

1日あたり	
販売数量	(利潤)もうけ
80個	8,000円

1ヶ月の売り上げは

1ヶ月(30日)あたり	
販売数量	(利潤)もうけ
2400個	240,000円

月あたり店にかかる費用

月あたりにかかる費用			
光熱費 ガス 水道 電気	人件費 給料など	減価償却費	合計
50,000円	230,000円	30,000円	310,000円

1個あたりの価格を決めよう

一個あたり		
卸売り価格	販売価格	(利潤)もうけ
450円		0円 - 800円

1日に販売する個数

1日あたり	
販売数量	(利潤)もうけ
80個	

1ヶ月の売り上げは

1ヶ月(30日)あたり	
販売数量	(利潤)もうけ

月あたりの利潤は

月あたりのもうけ	—	月あたりかかる費用	=	利潤
		310,000円		